

用語解説

- 議会費……………議会を運営するために使われるお金
- 総務費……………一般的な管理事務、企画調整事務などに使われるお金
- 民生費……………高齢者、障がい者、児童などの福祉全般や生活保護事務に使われるお金
- 衛生費……………健康管理や生活環境整備などに使われるお金
- 農林水産業費……………農道、漁港の整備や営農の活性化などに使われるお金
- 商工費……………商工業および観光の振興に使われるお金
- 土木費……………道路、港湾、住宅管理などの事業に使われるお金
- 消防費……………消防施設の整備や消防団の運営などに使われるお金
- 教育費……………学校運営や生涯学習、スポーツの振興など、教育全般の事業事務に使われるお金
- 災害復旧費……………台風や集中豪雨などで被災した道路、農地、農業用施設などの復旧に使われるお金
- 公債費……………事業を行うために借り入れたお金を返済するために支払うお金
- 人件費……………市職員給与、市議会議員・各種委員報酬
- 扶助費……………法令に基づく被扶助者に支給される経費、児童手当、医療扶助
- 普通建設事業費など……………道路の整備、公共施設などの整備に要したお金など
- 物件費……………消耗品、臨時職員賃金、業務委託料など
- 諸支出金……………各種基金への積立金として使うお金
- 繰出金……………一般会計と特別会計または特別会計相互間において支出される費用

引き続き行政内部努力 市民サービスの向上を で着実に財政再建化に取り組み、 めざす

表4 一般会計当初予算《歳出目的別》

目的別項目	H21	H20	増減額	増減率
議会費	1億6,937万円	1億9,034万円	△2,097万円	△11.0%
総務費	21億752万円	19億7,049万円	1億3,702万円	7.0%
民生費	45億405万円	43億7,044万円	1億3,361万円	3.1%
衛生費	15億357万円	14億9,725万円	632万円	0.4%
農林水産費	7億5,059万円	12億6,516万円	△5億1,456万円	△40.7%
商工費	2億3,228万円	2億2,931万円	297万円	1.3%
土木費	6億9,625万円	9億3,572万円	△2億3,947万円	△25.6%
消防費	6億617万円	6億1,656万円	△1,038万円	△1.7%
教育費	11億5,902万円	10億495万円	1億5,407万円	15.3%
災害復旧費	121万円	134万円	△13万円	△9.8%
公債費	23億7,833万円	24億158万円	△2,325万円	△1.0%
諸支出金	9,617万円	3,769万円	5,849万円	155.2%
予備費	3,146万円	2,018万円	1,129万円	55.9%
合計	142億3,600万円	145億4,100万円	△3億500万円	△2.1%

表5 平成21年度当初予算とリバイバルプラン《歳出》

項目	H21 当初	H21RP*1	比較
義務的経費	79億7,741万円	79億8,900万円	△1,158万円
人件費	32億7,663万円	33億2,400万円	△4,737万円
扶助費	23億2,246万円	23億3,600万円	△1,354万円
公債費	23億7,833万円	23億2,900万円	4,933万円
その他の経費	50億3,472万円	49億3,700万円	9,772万円
物件費	10億5,043万円	11億3,700万円	△8,657万円
維持補修費	3,946万円	4,900万円	△954万円
補助費等	24億9,373万円	19億9,400万円	4億9,973万円
繰出金	12億1,680万円	15億200万円	△2億8,521万円
積立金	9,576万円	1億2,500万円	△2,924万円
出資金貸付金	1億3,855万円	1億3,000万円	855万円
投資的経費	11億9,240万円	12億9,700万円	△1億460万円
普通建設事業	11億9,119万円	12億9,700万円	△1億581万円
災害復旧事業	121万円	0円	121万円
予備費	3,146万円	4,800万円	△1,654万円
合計	142億3,600万円	142億7,100万円	△3,500万円

*1 RPとは、リバイバルプランの略体

平成21年度歳出内訳

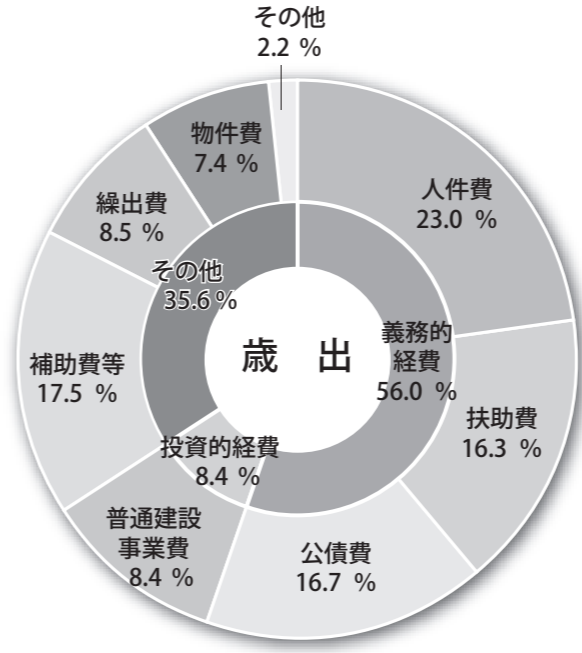


表3 一般会計当初予算《歳出性質別》

性質別項目	H21	H20	増減額	増減率
義務的経費	79億7,742万円	80億6,007万円	△8,265万円	△1.0%
人件費	32億7,663万円	33億3,232万円	△5,569万円	△1.7%
扶助費	23億2,246万円	23億2,617万円	△371万円	△0.2%
公債費	23億7,833万円	24億158万円	△2,325万円	△1.0%
投資的経費	11億9,240万円	15億5,048万円	△3億5,809万円	△23.1%
普通建設事業費	11億9,119万円	15億4,914万円	△3億5,796万円	△23.1%
うち補助事業	6億2,845万円	10億4,662万円	△4億1,818万円	△40.0%
うち単独事業	5億6,274万円	5億252万円	6,022万円	12.0%
災害復旧費	121万円	134万円	△13万円	△9.8%
その他の経費	50億3,472万円	49億1,028万円	1億2,445万円	2.5%
物件費	10億5,043万円	10億8,592万円	△3,549万円	△3.3%
維持補修費	3,946万円	4,726万円	△780万円	△16.5%
補助費等	24億9,373万円	24億1,499万円	7,874万円	3.3%
積立金	9,576万円	3,746万円	5,830万円	155.6%
出資金貸付金	1億3,855万円	1億3,542万円	313万円	2.3%
繰出金	12億1,680万円	11億8,922万円	2,757万円	2.3%
予備費	3,146万円	2,018万円	1,129万円	55.9%
合計	142億3,600万円	145億4,100万円	△3億500万円	△2.1%

歳出

歳出において性質別に前年度と比較すると、人件費などの義務的経費が8,264万9千円の減、建設事業関係経費である投資的経費が3億5,808万7千円の減、他会計への繰出金等で構成されるその他の経費が1億2,445万8千円の増となっております。

歳出予算の圧縮により構成比率はほぼ同様となっておりますが、個別に見ていくと、義務的経費を削減することで財

リバイバルプランとの比較(歳出)

歳出において、義務的経費は見込みより1,158万4千円減、その他の経費は9,772万3千円の増、投資的経費は

政の弾力性を伸ばしつつあります。また、内部事務管理費の削減を徹底的に行うことで、物件費及び維持補修費がプランに沿った財政改革が着実に実施された結果になっております。(表3参照)

1億4,600万3千円の減、歳出総額は3,500万円の減であり、見込みより義務的経費、投資的経費を削減することで、プランと比較して若干ながら前倒しの財政再建が進んでいます。(表5参照)

